

アピール

本日、私たちは、仙台藩の復興事業の一環として、困難に負けず震災を乗り越え復興への決意を胸に大海原へ漕ぎ出していった「ジパング青春記～慶長遣欧使節団出帆～」に思いを重ね、東日本大震災からのさらなる復興へ向け、勇気と希望と絆を築く大変貴重な機会を得ました。

こんわ会では、1991年6月の設立以来、県内協同組合間の連携を目指し、2008年4月に「食料の安全・安心を守る共同宣言」、2011年7月には「東日本大震災からの復興をめざす共同宣言」を発表し、これまで、結集する協同組合の事業を発展させた復興支援イベントや食の学習会の開催等、様々な取組みを行ってきました。

また、2016年11月には「協同組合の思想と実践」がユネスコの無形文化遺産に登録され、協同組合の価値が世界的に認められました。行き過ぎた経済至上主義・資本主義に警鐘を鳴らし、地域社会・経済における協同組合の価値や役割について広く発信するとともに、さらなる取組みの展開が求められるところです。

本日、このミュージカルを契機に、県内協同組合組織は復興に向けた意欲を再奮起し、組織間の連携した取組みを通じて「復興への加速化」をはかるとともに、すべての県民が安心して心豊かな生活を送ることができるよう、連携の輪を拡げてゆくことをアピールします。

2018年2月7日

参加者一同